

最終工程に近い品質検査は、自分の手で完成形をつくる達成感があります。

小さい頃から部品のような小さいものや、黙々と何かをするのが好きでした。製造業は両親が携わっていたことで興味があり、地元の企業に就職して地域のつながりを大切に働きたい、という思いから入社を決めました。

東北相馬工場では腕時計のフレームや蓋などの外装を製造しています。その中で私が担当しているのは完成した外装の傷や形状、色などのチェックをする品質検査です。最終工程に近いところにいるので、お客様に近い、責任感のある仕事だと感じています。また自身の手で完成形をつくる、という達成感もあります。



工場自体は4分の3が男性ですが、私が働く組立部門には女性が多く、育児をしながら働く先輩を見てきました。家庭と仕事の両立に社内の理解もあるので、安心して子育てしていけるなと感じています。

会社概要



会社名：シチズン時計
マニファクチャリング株式会社
東北相馬工場

所在地：相馬郡新地町駒ヶ嶺字ソリ畑11-1
(本社/埼玉県所沢市)

設立：平成25年10月(本社創業は平成25年7月)

事業内容：各種時計類及びその部分品の製造

従業員数：96名(うち女性23名)※平成28年1月現在



女性がやりがいを持って安心して働ける、活躍できる場所がある。

当社には女性目線で工場内を改善して欲しいということで、「なでしこチーム」という美化委員会があります。現在はリーダーとして花いっぱい運動や受付の飾り付けなど、女性ならではの視点を生かした職場環境の向上にも努めています。

個人的には2008年、時計を解体して修理をする技能を競う「時計技能全国大会クォーツ部門」で優勝することができました。最初はやってみたい、チャレンジしたいという軽い気持ちでした。しかし成績を残せたことで自信にもなりまし

たし、経験を生かしてアドバイスできるようにもなりました。任せられる仕事も増え、それがやりがいにもつながります。ものづくりはいろんな場面で目標を立てていける仕事です。そして自分のやる気次第でスキルアップや可能性も広げていける、素敵な仕事だと思っています。



〈腕時計のフレームと蓋〉

ものづくり女子へのMessage



ケース製造課技術 担当課長
南部 喜一さん

検査にはセンスも大事ですが、佐藤さんは上司の信頼も厚く、統率力があってセンスもいい。以前は男の世界とされてきましたが、女性の活躍の幅も広がってきています。これからさらにステップアップして、もっとのびのびとやってほしいと思います。

シチズン時計 マニファクチャ リング株式会社

東北相馬工場 [新地町]



ケース製造課ケース製造2係
組立Grリーダー

佐藤香織さん

県立相馬女子高校(現:相馬東高校)普通科卒。
相馬市出身。工場見学をきっかけに入社。結
婚後も家庭と両立しながら勤務を続けている。

いろんな場面で目標を立て、可能性を広げていける仕事です。